

令和5年6月号

一宮町の歴史特集 — 加納久朗没後60年 —

ワレワレハ千葉県ノタメ

千葉県ハ日本ノタメ 日本ハ世界ノタメ



【第3回 銀行員・加納久朗】

大正元年(1912)10月、久朗は横浜正金銀行に入行します。横浜正金銀行は戦前、世界有数の為替銀行で、現三菱UFJ銀行の前身となります。現在旧本店の建物は国の重要文化財に指定され、神奈川県立歴史博物館として活用されています。

入行後の久朗は、世界各地の支店に転動しています。以下列記すると、大阪支店 ↓ 満州・大連支店(1915年) ↓ ニューヨーク支店(1917年) ↓ ロンドン支店(1920年) ↓ インド・カルカタ支店・支店長(1924年) ↓ 本社勤務 ↓ ロンドン支店・支店長(1934年)

昭和9年にロンドン支店支店長に就任すると、昭和16年(1941)の日英開戦まで、久朗はロンドンにおける日本人コミュニティの代表的存在として活躍しました。なお、開戦後の昭和17年(1942)3月、ロンドン在住だった久朗はイギリス政府により「敵性外国人」として身柄を拘束

イギリス・マン島に抑留されます。小冊子『慢島生活』には、久朗と、同じく抑留されていた人々のその時の生活が記録されています。写真は捕虜交換船上での久朗(2列目左から2番目)と横浜正金銀行ロンドン支店の同僚の集合写真です。

その後、捕虜交換船で帰国した久朗は、同年に横浜正金銀行の取締役に就任します。そして昭和21年1月にその職を辞任し、約35年間の銀行員生活に幕を下ろすこととなります。



昭和十七年九月十四日引揚船説川先にて正金銀支店支店長

令和5年7月号

一宮町の歴史特集 — 加納久朗没後60年 —

ワレワレハ千葉県ノタメ

千葉県ハ日本ノタメ 日本ハ世界ノタメ



【第4回 戦後社会と加納久朗】

昭和21年(1946)1月に久朗は横浜正金銀行を退職後、食糧対策審議会臨時委員、財団法人国際文化振興会理事長など多くの役職に就きます。同年8月には横浜正金銀行の取締役だったことを理由に公職追放(特定の関係者が公職に就くことを禁ずる)となりますが、多くの民間企業の社長や会長などの要職への就任要請が相次ぎます。また公職追放中の身でありながら、昭和24年に日本経済の立て直しのために来日したGHQの経済顧問・ドッジ(銀行家、1890

〜1964)の相談役となったといいます。長年銀行に勤め、国際社会に精通していたことが影響していたのでしよう。

なお昭和25年10月に公職追放は解除されています。

昭和29年には、久朗は参議院議員補欠選挙千葉選挙区に立候補します。

吉田茂らが反対し、劣勢といわれている中での出馬となり、残念ながら落選となります。選挙期間中には

GHQ司令官のマッカーサー(1880〜1964)から久朗に10万円が送金された、と報じられるなど話題を呼んだ出馬となりました。

そして迎えた昭和30年7月20日。創設された日本住宅公団(現在の都市再生機構の前身の一つ)の初代総裁に久朗は就任します。つとめていた民間企業の要職などをすべて退職したうえで、久朗の覚悟のほどをうかがい知れます。日本住宅公団総裁時代は、久朗の人生の中でも特筆される時代となります。



▲昭和29年2月7日付吉田茂書簡(冒頭部分、「加納家史料」)参議院議員選挙への立候補(政界進出)について、数年は待った方がよい、と記されている。

【問合せ】教育課

(学芸員 江澤一樹) ☎(42)1416

【問合せ】教育課

(学芸員 江澤一樹) ☎(42)1416